

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・材料や用具に触れ、それらの知識や用具の使い方等を身に付けている姿が見られ、高学年は既習事項を生かしながら作品作りに取り組むことができている。
- ・材料などから作りたいものを考え、作品作りの中で様々な工夫をしながら取り組んでいる。
- ・課題に対して主体的に取り組む児童が多く、全体的に図画工作の授業を楽しんでいる。新しい材料や技術に触れ、高めようとする態度が見られる。

(2) 課題

- ・低学年・中学年において、材料から作りたいものを創造できず、つまづいてしまう児童が見られる。
- ・中学年、高学年では、絵の単元において、苦手な児童がおり、主体的に取り組むことが難しい場面が見られる。
- ・高学年において、これまで学んできた技能の定着が極化しており、作品づくりの進め方に差がみられる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・工作や造形活動では、使いやすい材料や用具の使い方について、1つの方法や手段だけではなく、様々な方法で試すことで、材料への理解、用具の使い方を定着させる。	・絵や工作の活動では、題材に合わせて、自分が感じたものを表せるよう、ワークシートや作品の見本等を活用し、想像したものを表す能力を養う。	授業の際には、児童が自主的に取り組むことを促進できるよう様々な技法や材料を用意し、児童の要望に応えられるよう準備する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・工作の活動では、低学年の経験を生かしながら、材料を組み合わせる経験や新たな用具についての理解を深められるよう様々な材料を用意する。 ・絵の学習では、使う技法の種類を増やしながら、過去の技法と併せて使えるよう試す時間や振り返りの時間を確保する。	・造形活動、工作等の活動から、新たな発想を引き出すため、教師の発問から複数の児童思い思いに発言する場を設け、迷っている児童にどのようなことを考えているのかを引き出すような声掛けを行い、考えたものを表現できるようにする。 ・鑑賞の活動は、友達の考え方を知り、色々な方法や見方があることを学ぶために、オクリンクプラス等使って、互	・児童の発想・構想を広げることができるように、児童の前で実演しながら、各児童の自らの目標を定めさせ、その後、導入の段階で考えたことを実行できるよう図工室の環境を整え、つくりだす喜びを感じられるようにする。

	いの作品を見合う機会を増やす。	
--	-----------------	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵や工作の活動では、これまでの経験がいかされるような課題を用意することで、既習事項の知識・技能がさらに高まるよう題材設定を行う。同時に、題材ごとに新たな技能も取り入れ、これまでよりも創造的に作品に取り組めるよう配慮する。 ・造形活動では、新たな体験から、自ら感じたことや自分の作業具合を確認させることを通して、造形的な特徴を理解できるようにする。	・絵の活動では、色や形、材料の特徴からどのように主題を表すのかをワークシート等で複数の表現方法を考え、表現の幅を伸ばしていく。 ・工作の活動では、これまで使ってきた材料を使いながら、作りたい作品に合わせて材料を選べるようにする。多くの材料から自分の意志に合わせて選ぶよう、声掛けをし、なぜ、この材料で表したのかを考えさせるようにする。 ・鑑賞の活動は、友達作品から、表現や意図の特徴、表し方の変化を学ぶために、学習の途中に互いに見合う時間を設定することで、自己の見方や考え方を深めながら学習を行うようにする。	・絵や工作の活動では、常に新しいことを織り交ぜていくことで、作品完成よりも体験を重視する。作成の過程を認め、称賛する機会を増やすことで、活動に積極的に取り組むことができるようにする。